



かっぱは、どんな姿すがたをしているの

むかしばなしで 想像上そうぞうじょうの生き物

かっぱは、子どものような姿すがたをしていて、頭あたまに皿さらがあり、人ひとを水中すいちゆうに引き込んで、おぼれさせるといわれています。頭あたまにある皿さらには水みずが入はいっていて、その水みずがかっぱの命いのちのもとであり、その水みずがなくなると、かっぱは死しんでしまうといわれています。

かっぱは、川かわや池いけにすんでいる動物どうぶつとして、いろいろなところところに登場とうじょうします。かっぱの話はなしは、日本にほんのあちこちにあります。また、地方ちほうによって、かっぱの姿すがた、形かたちもかなりちがいます。

もし、本当ほんとうにかっぱがいるのなら、日本にほんにはたくさんの種類しゅるいのかっぱがすんでいることになります。しかし、これまでに生きたかっぱがつかまえられたということはなく、写真しゃしんにさえとられたことがないのです。つまり、かっぱというのは、昔話むかしばなしに出てくる想像上そうぞうじょうの生き物ものだと考えたほうがいいでしょう。

かっぱの好きすなものはキュウリ

かっぱは、キュウリが好きすであると考かんがえられています。そのため、水神祭すいじんさい（水みずの神様かみさまを祭まつる祭まつり）や川祭かわまつりのときには、キュウリをおそなえし、水みずの事故じこなどの水難すいなんの被害ひがいがないことをおいのりします。（監修・青木 国夫）

